

政策9 「環境負荷の少ない地域づくりの推進」

政策9「環境負荷の少ない地域づくりの推進」は、良好な生活環境を維持するため、事業者の事業活動や県民の生活活動に伴い発生する大気汚染物質や水質汚濁物質等の抑制に努める様々な施策で構成されている。

1. 政策9の認知度

1.1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は39.1%、低認知度群は60.8%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性(45.3%)が女性(33.3%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(52.0%)が65歳未満(34.4%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

大崎圏域(48.9%)が、回答者全体と比較して9.8ポイント高い。

石巻圏域(29.3%)が、回答者全体と比較して9.8ポイント低い。

(%)

政策9 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	3.2	35.9	39.1	49.7	11.1	60.8	100.0

性別	男性	3.6	41.7	45.3	45.1	9.6	54.7	100.0
	女性	3.0	30.3	33.3	54.3	12.4	66.7	100.0
年齢別	65歳未満	2.5	31.9	34.4	53.3	12.3	65.6	100.0
	65歳以上	5.4	46.6	52.0	40.4	7.6	48.0	100.0

圏域別	仙台	2.4	34.8	37.2	50.0	12.9	62.9	100.0
	仙南	3.0	31.2	34.2	54.5	11.3	65.8	100.0
	大崎	4.3	44.6	48.9	42.0	9.1	51.1	100.0
	栗原	4.3	39.1	43.4	44.5	12.1	56.6	100.0
	登米	3.3	38.3	41.6	48.6	9.8	58.4	100.0
	石巻	2.7	26.6	29.3	59.8	10.9	70.7	100.0
	気山沼・本吉	2.5	33.1	35.6	52.7	11.7	64.4	100.0

有効回答者数 1,609 名

政策9「環境負荷の少ない地域づくりの推進」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は50.5%、低認知度群は49.5%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域(62.2%)が11.7ポイント、栗原圏域(57.2%)が6.7ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域(39.1%)が11.4ポイント、登米圏域(41.6%)が8.9ポイント、仙南圏域(44.4%)が6.1ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は61.5%、低認知度群は38.5%である。

(%)

政策9 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	6.7	43.8	50.5	46.5	3.0	49.5	100.0	
圏 域 別	仙台	6.0	44.0	50.0	45.7	4.3	50.0	100.0
	仙南	7.4	37.0	44.4	53.7	1.9	55.6	100.0
	大崎	7.9	44.7	52.6	46.1	1.3	47.4	100.0
	栗原	14.3	42.9	57.2	42.9	0.0	42.9	100.0
	登米	8.3	33.3	41.6	50.0	8.3	58.3	100.0
	石巻	8.7	30.4	39.1	52.2	8.7	60.9	100.0
	気仙沼・本吉	2.7	59.5	62.2	37.8	0.0	37.8	100.0

有効回答者数 329 名

学識者等全体	12.3	49.2	61.5	38.5	0.0	38.5	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 65 名

2. 政策9の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は83.2%、低関心度群は16.8%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性(84.4%)が女性(82.1%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(88.9%)が65歳未満(81.1%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に5ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策9 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	26.5	56.7	83.2	14.7	2.1	16.8	100.0

性別	男性	29.2	55.2	84.4	13.3	2.2	15.5	100.0
	女性	23.8	58.3	82.1	16.1	1.9	18.0	100.0
年齢別	65歳未満	21.5	59.6	81.1	16.7	2.2	18.9	100.0
	65歳以上	40.0	48.9	88.9	9.4	1.6	11.0	100.0

圏域別	仙台	24.3	60.1	84.4	14.2	1.4	15.6	100.0
	仙南	24.6	56.8	81.4	16.1	2.5	18.6	100.0
	大崎	31.6	52.7	84.3	14.3	1.3	15.6	100.0
	栗原	31.5	52.4	83.9	13.1	3.0	16.1	100.0
	登米	24.9	56.6	81.5	17.2	1.4	18.6	100.0
	石巻	16.0	65.8	81.8	16.6	1.6	18.2	100.0
	気山沼・本吉	27.8	56.4	84.2	12.9	2.9	15.8	100.0

有効回答者数 1,652 名

政策9「環境負荷の少ない地域づくりの推進」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は82.4%、低関心度群は17.6%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

気仙沼・本吉圏域(91.9%)が、回答者全体と比較して9.5ポイント高い。

仙台圏域(76.3%)が、回答者全体と比較して6.1ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は96.9%、低関心度群は3.0%である。

(%)

政策9 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	24.1	58.3	82.4	16.7	0.9	17.6	100.0	
圏 域 別	仙台	22.9	76.3	22.0	1.7	23.7	100.0	
	仙南	25.0	80.4	19.6	0.0	19.6	100.0	
	大崎	26.9	60.3	87.2	12.8	0.0	12.8	100.0
	栗原	28.6	57.1	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	33.3	50.0	83.3	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	26.1	56.5	82.6	13.0	4.3	17.3	100.0
	気仙沼・本吉	18.9	73.0	91.9	8.1	0.0	8.1	100.0

有効回答者数 336 名

学識者等全体	43.9	53.0	96.9	3.0	0.0	3.0	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策9の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は50.0点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は30.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より45.1%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は55.0点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は25.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より48.2%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は60.0点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は20.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より36.4%と推定できる。

政策9「環境負荷の少ない地域づくりの推進」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	50.0	30.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	40.0	30.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	60.0	30.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	10.6	(89.4)
満足度 60点未満の割合		55.7
要検討領域にある回答者全体の割合		45.1

有効回答者数；重視度 1,637人、満足度 1,620人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策9重視度	政策9満足度
度数	有効	1637	1620
	欠損値	84	101
平均値		76.62	52.31
平均値の標準誤差		.404	.431
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.354	17.354
分散		267.463	301.154
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	40.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	55.0	25.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	60.0	30.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.9	(93.1)
満足度 60点未満の割合		55.1
要検討領域にある回答者全体の割合		48.2

有効回答者数；重視度 334人、満足度 332人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策9重視度	政策9満足度
度数	有効	334	332
	欠損値	4	6
平均値		76.60	53.66
平均値の標準誤差		.787	.858
中央値		80.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		14.391	15.632
分散		207.111	244.346
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	61.3	28.8

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

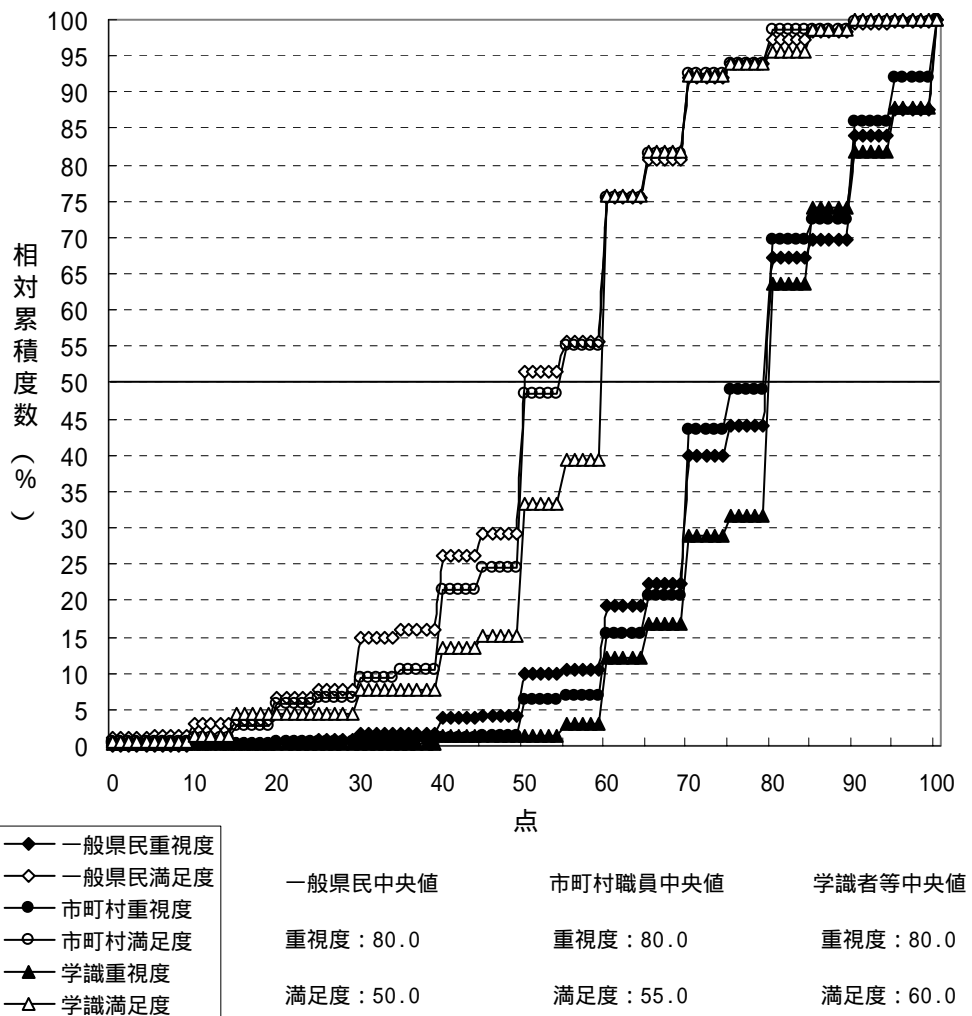
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	3.0	(97.0)
満足度 60点未満の割合		39.4
要検討領域にある回答者全体の割合		36.4

有効回答者数；重視度 66人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策9重視度	政策9満足度
度数	有効	66	66
	欠損値	3	3
平均値		79.77	56.52
平均値の標準誤差		1.596	1.822
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		12.962	14.806
分散		168.024	219.207
範囲		60	80
最小値		40	10
最大値		100	90
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	59.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	61.25

「政策9 環境負荷の少ない地域づくりの推進」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに80.0点で同じである。

満足度の中央値は、女性（55.0点）が男性（50.0点）よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性（30.0点）が女性（25.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに10.0点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性45.9%、女性44.9%と推定できる。

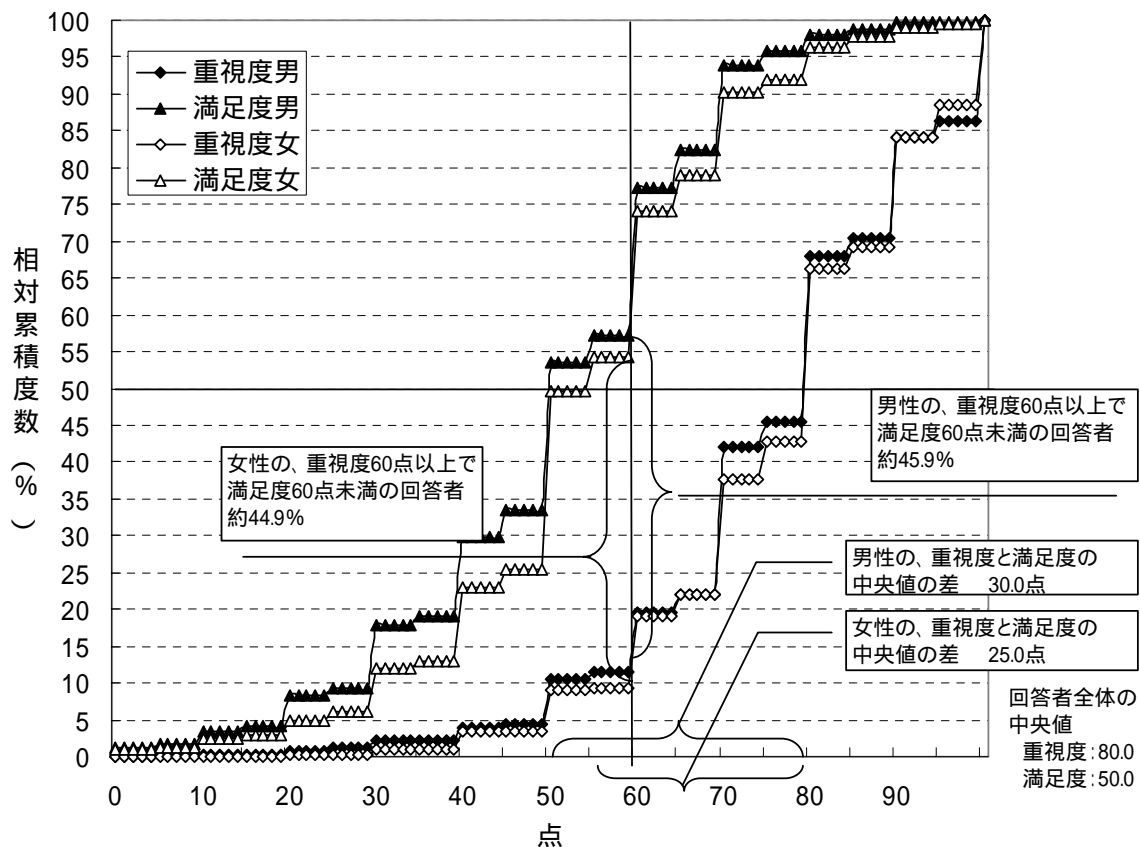
中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度60点未満の割合(60点以上の割合)	11.4 (88.6)	9.4 (90.6)
満足度60点未満の割合	57.3	54.3
要検討領域にある回答者全体の割合	45.9	44.9

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策9重視度	政策9満足度
度数	有効	770	763
	欠損値	33	40
平均値		76.19	50.75
平均値の標準誤差		.610	.637
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.929	17.598
分散		286.607	309.700
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策9重視度	政策9満足度
度数	有効	847	838
	欠損値	49	58
平均値		77.12	53.78
平均値の標準誤差		.539	.587
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.683	16.995
分散		245.947	288.839
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	45.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

3 2 - 2 65歳年齢区別

重視度の中央値は、65歳未満、65歳以上ともに80.0点で同じである。

満足度の中央値は、65歳未満(50.0点)が65歳以上(55.0点)よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65歳未満(30.0点)が65歳以上(25.0点)よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65歳未満、65歳以上ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65歳未満、65歳以上ともに10.0点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65歳未満46.6%、65歳以上41.3%と推定できる。

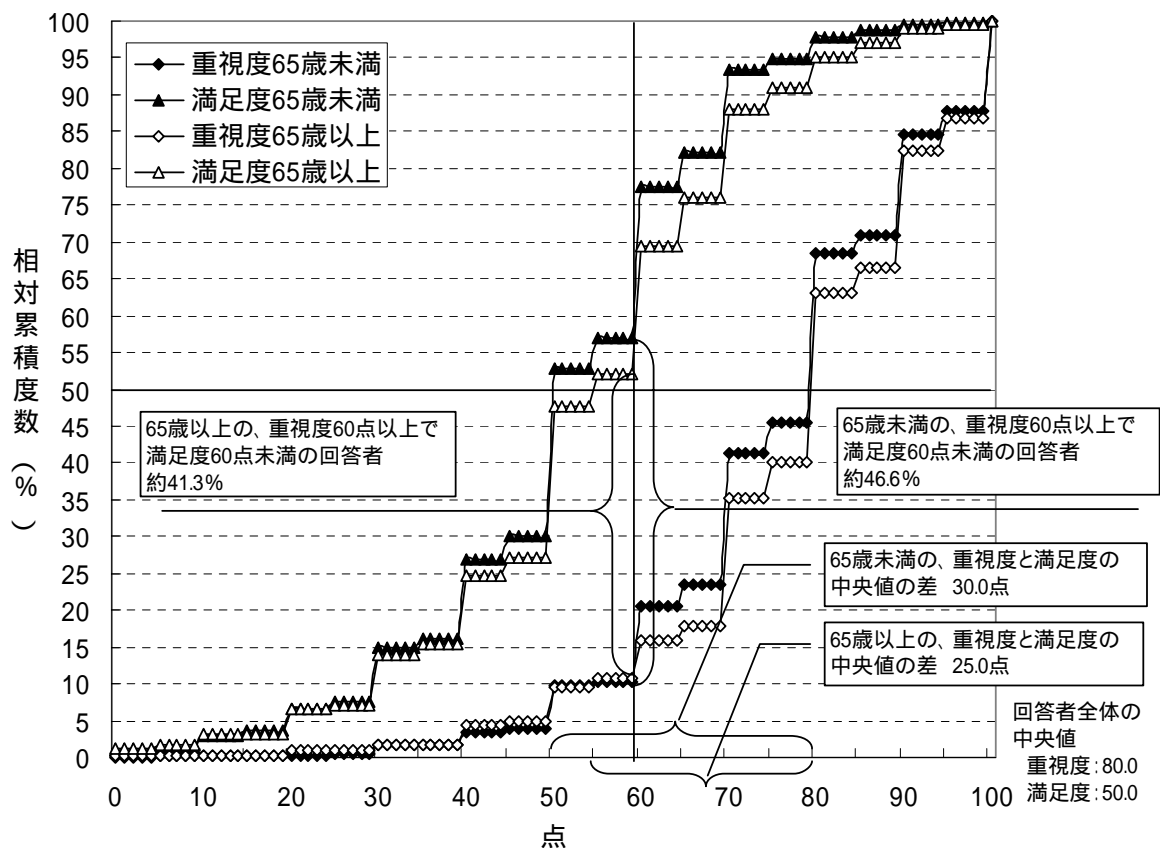
中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値(点)

		回答者全体	65歳未満	65歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	65歳未満	65歳以上
重視度60点未満の割合(60点以上の割合)	10.3 (89.7)	10.8 (89.2)
満足度60点未満の割合	56.9	52.1
要検討領域にある回答者全体の割合	46.6	41.3

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策9重視度	政策9満足度
度数	有効	1199	1190
	欠損値	41	50
平均値		76.26	51.78
平均値の標準誤差		.468	.491
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.200	16.941
分散		262.446	286.983
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策9重視度	政策9満足度
度数	有効	416	409
	欠損値	41	48
平均値		77.84	54.05
平均値の標準誤差		.811	.908
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.534	18.363
分散		273.380	337.201
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	45.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体(80.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)が10ポイント、登米圏域(55.0点)が5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、登米圏域(7.5点)、石巻圏域(7.5点)の2圏域が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、石巻圏域(70.0点)が回答者全体(80.0点)よりも10ポイント、登米圏域(72.5点)が7.5ポイント、仙南圏域(75.0点)、栗原圏域(75.0点)、気仙沼・本吉圏域(75.0点)の3圏域が5ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)、栗原圏域(60.0点)の2圏域が回答者全体(55.0点)よりも5ポイント高く、仙南圏域(50.0点)、気仙沼・本吉圏域(50.0点)の2圏域が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、石巻圏域(12.5点)、登米圏域(10.6点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、栗原圏域(5.0点)が小さい。

満足度の四分位偏差は、仙南圏域(10.0点)、石巻圏域(10.0点)、気仙沼・本吉圏域(10.0点)、大崎圏域(8.8点)、登米圏域(8.8点)、仙台圏域(7.5点)の6圏域が回答者全体(5.0点)よりも大きい。

政策9「環境負荷の少ない地域づくりの推進」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	60.0	50.0	55.0	50.0	50.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	20.0	30.0	25.0	30.0	30.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	65.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	50.0	40.0	50.0	45.0	40.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	20.0	30.0	20.0	25.0	25.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	70.0	65.0	65.0	60.0	60.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	20.0	25.0	25.0	30.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	12.5	7.5	7.5	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	75.0	80.0	75.0	72.5	70.0	75.0
	満足度	55.0	55.0	50.0	60.0	60.0	57.5	55.0	50.0
	かい離	25.0	25.0	25.0	20.0	15.0	15.0	15.0	25.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	62.5	65.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	40.0	50.0	60.0	46.3	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	30.0	20.0	10.0	16.3	25.0	30.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	80.0	83.8	90.0	90.0
	満足度	60.0	65.0	60.0	67.5	70.0	63.8	60.0	60.0
	かい離	30.0	25.0	30.0	22.5	10.0	20.0	30.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	5.0	10.6	12.5	10.0
	満足度	5.0	7.5	10.0	8.8	5.0	8.8	10.0	10.0

4. 政策 9 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 2「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」（28.8%）である。

第 2 位は施策 6「ダイオキシン類や P C B 廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」（26.7%）である。

第 3 位は施策 7「環境負荷を減らす仕組みづくり」（19.3%）である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 7「環境負荷を減らす仕組みづくり」（30.7%）である。

第 2 位は施策 2「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」（29.0%）である。

第 3 位は施策 6「ダイオキシン類や P C B 廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」（21.2%）である。

学識者では、

第 1 位は施策 2「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」（36.8%）と施策 7「環境負荷を減らす仕組みづくり」（36.8%）である（施策 2 と施策 7 が共に第 1 位になっている）。

第 3 位は施策 6「ダイオキシン類や P C B 廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」（11.8%）である。

性別

一般県民では、

第 1 位は、男性では施策 2「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」、女性では施策 6「ダイオキシン類や P C B 廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」である。

第 2 位は、男性では施策 6「ダイオキシン類や P C B 廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」、女性では施策 2「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」である。

第 3 位は、男性女性とも、施策 7「環境負荷を減らす仕組みづくり」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別毎の各施策の優先度は、65 歳未満 65 歳以上とも、回答者全体と同じである。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 2 「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」、仙台、仙南、大崎、石巻の 4 圏域では施策 6 「ダイオキシン類や P C B 廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」である（石巻圏域では施策 2 と施策 6 が共に第 1 位になっている）。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎の 3 圏域では施策 2 「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」、登米、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 6 「ダイオキシン類や P C B 廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」、栗原圏域では施策 7 「環境負荷を減らす仕組みづくり」である。

第 3 位は、仙台、仙南、大崎、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 7 「環境負荷を減らす仕組みづくり」、栗原圏域では施策 6 「ダイオキシン類や P C B 廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」である。

市町村職員では、

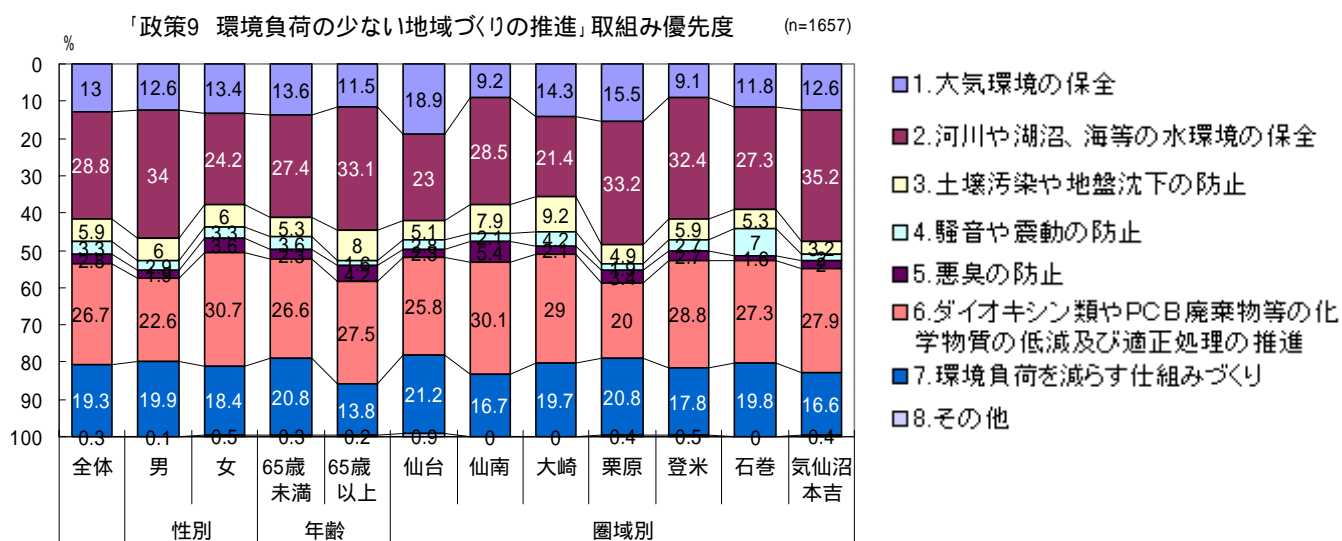
第 1 位は、仙南、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 2 「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」、仙台、仙南、登米、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 7 「環境負荷を減らす仕組みづくり」、仙台圏域では施策 6 「ダイオキシン類や P C B 廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」である（仙台圏域では施策 6 と施策 7、仙南圏域では施策 2 と施策 7、登米圏域では施策 2 と施策 7、気仙沼・本吉圏域では施策 2 と施策 7 が共に第 1 位になっている）。

第 2 位は、大崎、栗原の 2 圏域では施策 7 「環境負荷を減らす仕組みづくり」、石巻圏域では施策 2 「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」である。

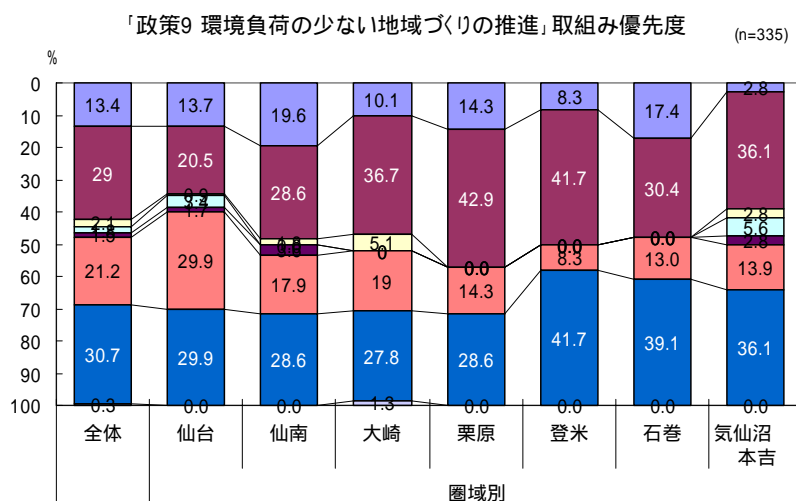
第 3 位は、仙南、栗原、登米、石巻の 4 圏域では施策 1 「大気環境の保全」、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 6 「ダイオキシン類や P C B 廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」、仙台圏域では施策 2 「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」である（栗原圏域では施策 1 と施策 7、登米圏域では施策 1 と施策 7 が共に第 3 位になっている）。

政策9「環境負荷の少ない地域づくりの推進」

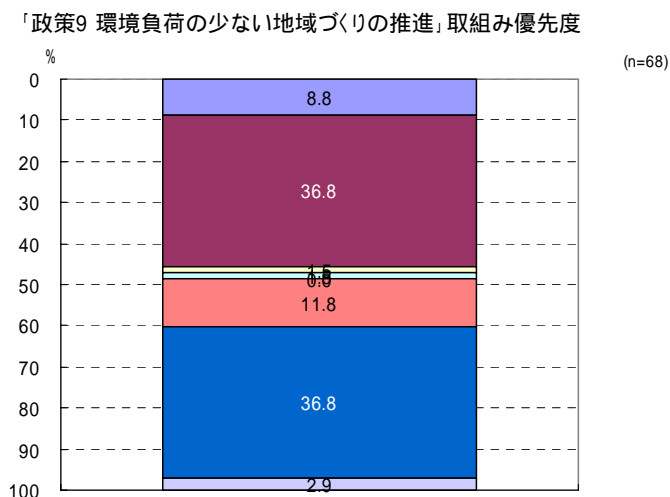
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策9「環境負荷の少ない地域づくりの推進」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.大気環境の保全	13.0	12.6	13.4	13.6	11.5	18.9	9.2	14.3	15.5	9.1	11.8	12.6
2	2.河川や湖沼、海等の水環境(特に水質)の保全	28.8	34.0	24.2	27.4	33.1	23.0	28.5	21.4	33.2	32.4	27.3	35.2
3	3.土壌汚染や地盤沈下の防止	5.9	6.0	6.0	5.3	8.0	5.1	7.9	9.2	4.9	5.9	5.3	3.2
4	4.騒音や震動の防止	3.3	2.9	3.3	3.6	1.6	2.8	2.1	4.2	1.9	2.7	7.0	2.0
5	5.悪臭の防止	2.8	1.9	3.6	2.3	4.2	2.3	5.4	2.1	3.4	2.7	1.6	2.0
6	6.ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推	26.7	22.6	30.7	26.6	27.5	25.8	30.1	29.0	20.0	28.8	27.3	27.9
7	7.環境負荷を減らす仕組みづくり	19.3	19.9	18.4	20.8	13.8	21.2	16.7	19.7	20.8	17.8	19.8	16.6
8	8.その他	0.3	0.1	0.5	0.3	0.2	0.9	0.0	0.0	0.4	0.5	0.0	0.4

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.大気環境の保全	13.4	13.7	19.6	10.1	14.3	8.3	17.4	2.8
2	2.河川や湖沼、海等の水環境(特に水質)の保全	29.0	20.5	28.6	36.7	42.9	41.7	30.4	36.1
3	3.土壌汚染や地盤沈下の防止	2.1	0.9	1.8	5.1	0.0	0.0	0.0	2.8
4	4.騒音や震動の防止	1.8	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6
5	5.悪臭の防止	1.5	1.7	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8
6	6.ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推	21.2	29.9	17.9	19.0	14.3	8.3	13.0	13.9
7	7.環境負荷を減らす仕組みづくり	30.7	29.9	28.6	27.8	28.6	41.7	39.1	36.1
8	8.その他	0.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.大気環境の保全	8.8
2	2.河川や湖沼、海等の水環境(特に水質)の保全	36.8
3	3.土壌汚染や地盤沈下の防止	1.5
4	4.騒音や震動の防止	1.5
5	5.悪臭の防止	0.0
6	6.ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推	11.8
7	7.環境負荷を減らす仕組みづくり	36.8
8	8.その他	2.9

政策9「環境負荷の少ない地域づくりの推進」